

(様式1)

平成25年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 036	提案機関名 農業技術センター三浦半島地区事務所普及指導課
要望問題名 「サラダ紫」抑制栽培作型の適用性検討	
<p>要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】 「サラダ紫」の露地栽培は、管内に30戸約1haの栽培面積があり、5月上旬定植で7月上旬より収穫の作型で栽培している。しかしながら、5月上旬は春キャベツの収穫、カボチャの管理作業等との労力やほ場利用の競合があること、生育初期にブク果が発生して商品化率が低くなることなどの理由から、「サラダ紫」の作付面積は増加していない。 平成22年度の山梨県総合農業技術センターの研究成果情報によると、「露地抑制ナスのかいてき仕立て栽培」として、主枝を6本仕立てとし、緩効性被覆肥料主体に全量基肥施用することで、生育初期から効率よい肥効が得られ、8t/10a程度の上物収量を得ることが示されている。 新たに「サラダ紫」抑制栽培を導入することで、労力競合、畑の確保等の問題が回避され、新規栽培者の確保、作付け面積の拡大につながるものと考えられる。 山梨県での成果は「千両2号」を対照品種としたものであるため、「サラダ紫」におけるこの作型の適応性の検討による抑制栽培法の確立をお願いしたい。</p>	
解決希望年限	<input type="checkbox"/> 1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> 2～3年以内 <input type="checkbox"/> 4～5年以内 <input type="checkbox"/> 5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> 農業技術センター <input type="checkbox"/> 畜産技術所 <input type="checkbox"/> 水産技術センター <input type="checkbox"/> 自然環境保全センター
備考	

ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	野菜作物研究部
対応区分	実施 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 継続検討 <input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 調査指導対応 <input type="checkbox"/> 現地対応 <input type="checkbox"/> 実施不可 <input type="checkbox"/>		
試験研究課題名 (、 、 の場合) 地産地消を推進する安定生産技術の確立			
<p>対応の内容等 「サラダ紫」は、「千両2号」が主流ナス品種にあって、バリエーションを提供する貴重な品種と考えられています。当所ではこれまで、「サラダ紫」について3～4本仕立ての露地長期どり栽培における生育特性を中心に調査してきました。ここで現地での課題が具体化されましたので、抑制作型への適応性を検討し、適応作型の拡大につなげたく考えます。 三浦半島地域における適応性については、別途調整させていただきます。</p>			
解決予定年限	<input type="checkbox"/> 1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> 2～3年以内 <input type="checkbox"/> 4～5年以内 <input type="checkbox"/> 5～10年以内		
備考			